



▲委嘱状を手に笑顔を見せるWANIMA (左からKENTAさん、FUJIさん、KO-SHINさん)

ともに 天草PR やってみよう!

WANIMA 「天草宝島親善大使」委嘱状交付式

昨年11月に天草宝島親善大使に就任した「WANIMA」。KENTA (松本健太) さん、KO-SHIN (西田光真) さん、FUJI (藤原弘樹) さんの3人組ロックバンドで、松本さんと西田さんは倉岳町、藤原さんは熊本市の出身です。

7月2日、本渡第一映劇で行われた委嘱状交付式には多忙なスケジュールの合間を縫って3人が揃って出席。中村市長から委嘱状の交付とそれぞれに「天草宝島親善大使」と書かれたタスキが掛けられました。

代表してボーカルのKENTAさんが、「曲を作るときも天草や倉岳の景色が浮かんでくる。大好きな天草を、もっとたくさんの人に



▲ポルトに設置されたサイン入りパネル

知ってほしいので音楽を通じて発信していきたい」とあいさつしました。

ステージ上に用意されたWELCOME TO AMAKUSA!! (ようこそ天草へ) と書かれた特製のパネル。1つは天草空港の到着ロビーに、3人のサイン入りのパネルは天草宝島国際交流会館ポルト1階に設置され、来訪者を迎えています。

天草の情報
発信中!



天草市フェイスブック

魅力いっぱいの天草の旬な情報を発信しています。ページへのいいね! とフォローをお願いします。



天草市インスタグラム (amakusa_islandstory)

景色やグルメなど写真で天草の魅力を発信しています。天草の写真は「#my_amakusa」で投稿してください。



イベントカレンダー

1Ⓢ 御所浦白亜紀資料館特別展【～9月2日】
「恐竜と今に生きる太古の生き物」
※絵画・デザインコンテスト作品展同時開催
9:00～17:00(御所浦白亜紀資料館)
[天草四郎陣中旗]公開【～7日】
8:30～18:00(天草キリシタン館)

4Ⓢ 天草ハイヤ道中総踊り
19:20～(市役所～天草信用金庫本店)
本渡歴史民俗資料館夏期特別展
[天草動物たちの衣食住]【～9月30日】
8:30～17:00(本渡歴史民俗資料館)

5Ⓢ 天草動物講演会
13:30～(天草文化交流館)

8Ⓢ タコ供養祭
9:30～(有明オクトパーク(リップランド))

10Ⓢ 天草南蛮柿フェア2018【～9月30日】
(島内参加店)

11Ⓢ 山の日
しんわサマーフェスティバル2018
18:00～(大多尾漁協周辺(新和町))

11Ⓢ 下田温泉夏まつり(夜市)
18:00～(下田温泉広場(天草町))
エコクラフト作品展【～19日】
9:00～17:00(天草文化交流館)

12Ⓢ 教会の見える崎津みなとのフェスティバル
15:00～(崎津漁港広場(河浦町))

13Ⓢ すもも夏祭り
18:00～(栖本福祉会館駐車場周辺)

14Ⓢ 宮田地区夏祭り
19:00～(倉岳大えびず像公園)
上津浦夏まつり
18:20～(上津浦グラウンド(有明町))

16Ⓢ 牛深地区成人式
10:00～(牛深総合センター)

17Ⓢ 人権教育講演会
10:00～11:45(天草市民センター)

22Ⓢ 女性のための無料法律相談
10:00～12:00(市男女共同参画センター(ぼぼらす))

25Ⓢ 結婚応援セミナー&交流会
15:30～(天草ブルーガーデン(天草町))
夏休み化石セミナー【～26日(1泊2日)】
11:20～(御所浦白亜紀資料館)

26Ⓢ 有明まちづくり講演会
10:00～11:30(有明町民センター)

市政だより

天草 平成30年 8月号

Contents 主な内容

- 3 宝島のわだい
- 7 副市長・教育長就任あいさつ
- 8 崎津集落が世界の宝に!!
- 18 天草市妊娠・出産包括支援事業
- 20 天草市ふるさと応援寄附金
- 21 あまくさん/スポーツ大好きっ子
- 22 みんなの広場
- 24 暮らしの情報
- 38 市民のひろば
- 41 健康ごよみ
- 42 天草の潮汐/行政相談所を開設
- 43 休日在宅病・医院/水道修繕当番店
- 44 いきいき健康

人のうごき 6月30日現在

6月中の異動		※()内は前月比	
人	口	81,652 (41減)	出生 43人
男		38,339 (14減)	死亡 103人
女		43,313 (27減)	転入 113人
世帯数		37,142 (10減)	転出 94人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所・市庁舎別館 ☎21111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深 ☎21111・有 明 ☎31111 御所浦 ☎21111・倉 岳 ☎31111 栖 本 ☎31111・新 和 ☎21111 五 和 ☎11111・天 草 ☎21111 河 浦 ☎11111

心に響く民謡を唄う

牛深ハイヤ節全国大会・魚貫草刈り唄全国大会



▶牛深ハイヤ節の総合グランプリを受賞された中村璃来さん

▶魚貫草刈り唄の総合グランプリを受賞された植田真里さんを

6月23・24日に、牛深総合センターで行われた「牛深ハイヤ節全国大会・魚貫草刈り唄全国大会」。6歳から85歳まで、遠くは大阪や奈良からの参加もあり、延べ168人が自慢の唄声を披露しました。

牛深ハイヤ節大会は中村璃来さん(宇城市)が、魚貫草刈り唄大会は植田真里さん(宇城市)がそれぞれ初めて総合グランプリに選ばれました。

和菓子づくりで地域おこし

河浦まちづくり講演会



▲色とりどりのお菓子に見入る参加者

6月23日、「本業の技術を生かす地域活動」と題した講演会が一町田地区コミュニティセンターで開かれ、地域住民など60人が参加しました。河浦地区公民館とまちづくり協議会が開催したもので、熊本市川尻町で和菓子による町おこし活動を行う片岡圭助さんが講演。季節の風物を彩る上生菓子作りの実演もあり、参加者は、「きれいで食べるのがもったいない」と大いに盛り上がりました。

海の安全を祈願

立海水浴場海開き



▶みんなで漕ぐと楽しいよ

6月23日、新和町立海水浴場で海開きがありました。同町宮南地区振興会と天草宝島観光協会が開催したもので、神事を行いシーズン中の安全を祈願。その後、スタンドアップパドルボード(SUP)とシュノーケリングの体験も行われ、新和小学校の児童など約40人が参加しました。

初めてSUPを体験した小学生は、「みんなで沖までスイスイ漕げて、楽しかった。またやってみよう」と話していました。

“夏の味覚”に活気づく!!

「倉岳えびすハモ」水揚げ



▲ハモを仕分ける漁協職員

倉岳町宮田漁港はハモの水揚げで活気づいています。ハモは梅雨の水を飲んでおいしくなると言われ、夏場が旬の白身魚です。

7月10日には、不知火海で捕れた約200kgが水揚げされました。漁協職員によれば、今年は昨年より多い5～6トンを見込んでいるそう。漁は8月中旬まで続き、「倉岳えびすハモ」のブランド名で関西や関東方面に出荷されます。

手作りのお地蔵さんが完成!

御領石彫刻教室



▲真剣な表情で彫る参加者

五和町特産の「御領石」を使った彫刻教室が、5月19日～6月23日まで毎週土曜日の全6回、市役所五和支所で行われました。

御領まちづくり振興会が御領石のすばらしさに触れてほしいと毎年開催しているもので、町内外や地元石の会の会員など15人が参加。講師の石崎大徳さん指導のもと、楽しみながらオリジナルのお地蔵さんを完成させていました。

私たちの思いを栖本から世界へ発信

栖本中学校キャリアスタディ講座



▲講師とディスカッションする全校生徒

6月8日、栖本中学校でキャリアスタディ講座が行われました。自分で考え、未知なるものを乗り越えていける基礎を身につけてほしいと、同校出身で、企画・広告・マーケティングの経験を持つ原田真也さんを講師に招いて開催。意見を言うことの大切さやスマートフォンやタブレットの活用方法を学び、テレビ電話も体験しました。

参加した生徒は、「意志さえあればどんなことでもできるんだな」と話していました。

こんな航空会社はどこにもない!

「島のエアライン」著者・黒木亮氏講演会



▶講演会後のサイン会に長蛇の列

7月8日、天草エアラインを題材にした小説「島のエアライン」の著者・黒木亮さんの講演会が開催されました。会場のホテルアレグリアには約250人が集まり、作中にも登場する3人によるトークや黒木さんの執筆話に、笑いや感嘆の声が上がっていました。

黒木さんは、「皆さんの協力のおかげで実名表記や方言にもこだわって書くことができた。世界遺産をきっかけに更に飛躍してほしい」と感謝とエールを送りました。

五穀豊穡を願って

高浜地区虫追いまつり



▲地区を練り歩く虫追い行列

7月8日、天草町高浜地区で虫追いまつりが開催され地区住民30人が参加しました。このまつりは古くから豊作の祈願祭として伝えられ、毎年、高浜地区振興会が開催しているもの。参加者は、高浜八幡宮で神事を行った後、五穀を表すとされる五色の旗をなびかせ、虫を追い払うホラ貝、鐘、太鼓の音を鳴らしながら、地区の水田の周囲など約4kmを練り歩きました。

副市長に金子邦彦氏 教育長に石井二三男氏が引き続き就任

(7月1日付け)



天草を誇り、
語り継ぐ
子どもたちに

教育長
石井二三男氏
(河浦町河浦・70歳)

このたび、天草市議会の同意をいただき、市長より教育長を拝命いたしました。

私は、常々、地理的・距離的にへき地はあっても、教育にへき地はない、あってはならないと思っています。

教育に対する社会のニーズは大きく変化しています。技術革新が進むこの先、10年から20年後には、今ある仕事の半数は自動化がなされ、小中学生の65%が現在はない仕事に就くのではないかと言われています。

そのような中において、不易と流行を見極めながら、天草で育ち天草で教育を受けて良かったと一人でも多くの皆さんから言ってもらえるよう、また、天草のことを内外に自信をもって語り継ぐ子どもたちとなるよう、誠心誠意努力してまいります。

皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

※不易(ふえき)：時代を通じて変わらないこと

◆主な経歴

旧河浦町出身。昭和45年に旧本渡市立本渡南小学校教諭として着任。以来、同63年3月まで天草地域の小・中学校に勤務。その後、県教育庁勤務を経て、小学校長、玉名教育事務所長、県教育庁義務教育課長、同教育次長など歴任。

平成26年7月から市教育長。



職員とともに
市政発展へ向け
前進

副市長
金子邦彦氏
(小松原町・64歳)

このたび、市議会において副市長選任に対する同意をいただき、7月1日付けをもって、引き続き、副市長に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、2期目を迎えた中村市政の目指す4つの柱である

- ・強力な経済対策
- ・きめ細かな生活支援
- ・魅力ある地域づくり
- ・市民目線の行財政改革

をより現実のものへと実行するため、私も気持ちを新たに、職員と協力しながら一丸となって天草市の発展のため、全力で取り組んでまいりたいと思っております。

どうか市民の皆さまにおかれましても、これまでにも増して、ご指導とご協力を賜りますよう心からお願いを申し上げます。就任のご挨拶といたします。

引き続き、よろしくお願いいたします。

◆主な経歴

旧本渡市出身。昭和49年5月に旧本渡市職員となり、企画部合併推進室長、同部首席審議員、天草合併協議会の事務局長を歴任。平成18年3月の天草市発足から企画部長、総務部長を歴任。同26年6月退職。

平成26年7月から市副市長。

世界遺産のつながりでも協力

岩手県平泉町から義援金の贈呈



▲青木町長(右)と義援金を受け取った中村市長

7月6日、岩手県平泉町の青木幸保町長が市役所を訪れ、熊本地震の復興義援金(83,300円)を贈呈されました。これは同町にある道の駅「平泉」に設置した義援金箱に寄せられたもので、同施設内で天草宝島物産公社を通じて天草産の柑橘類を販売していることから今回の贈呈となりました。

青木町長は、「平泉には中尊寺があり、世界遺産としてのつながりもできました。今後も協力していきましょう」と話されました。

貝殻や流木は海のたからもの

上津浦地域講座



▲講師の清水さん(左)と参加者のみなさん

6月25日、有明町の上津浦地区コミュニティセンターで公民館地域講座「海のたからもの」が行われました。海岸に落ちている貝殻や流木、ガラス片などを使って写真立てとウェルカムボードを制作。今回作ったもの以外にも、ランプやペン立てなどを作ることができますとは思わなかった。自分でも拾ってきてみたい」と話していました。

夏休みは御所浦へGo!

御所浦白亜紀資料館特別展



▲ナウマンゾウの頭部復元模型を見上げる子どもたち

御所浦白亜紀資料館では、9月2日まで「恐竜と今に生きる太古の生き物」と題した特別展を開催しています。アロサウルスなどの復元模型や古代魚と言われる太古からほとんど形を変えていない生き物の展示、化石採集体験のほか、土・日曜日にはペーパークラフトやアンモナイト見学と伝馬舟漕ぎ体験なども行われています。

7月14日の開館初日に訪れた親子は、「夏休みにまた来たいです」と話していました。

旬のウニを満喫!

赤うにとイルカウォッチングキャンペーン



▶ウニを頬張りこの笑顔

7月9日、「赤うにとイルカウォッチングキャンペーン2018」の発表会が五和町のユメールで行われました。これは五和町観光旅館組合が、宿泊客にイルカだけでなく旬の赤ウニも楽しんでもらおうと企画したものです。

赤ウニを試食した参加者は、「濃厚で甘くておいしいです」と話していました。

宿泊者限定のこのキャンペーンは、8月31日まで行われています。